



発行責任者 堤 敏博

「バラモンプラン発表会」

校長 堤 敏博

本校では、総合的な学習（探究）の時間において、「社会探究型課題研究」を中心とした「バラモンプラン」に力を入れて取り組んでおり、11月6日に本校体育館で、2年生普通科が取り組んできた成果を発表する「令和元年度バラモンプラン発表会」を開催しました。

まず、発表会当日の校長あいさつの一部を掲載させていただきます。

先日、ある雑誌に次のようなことが書いてありました。「4歳の子供をイメージしてください。彼らは多くの質問をしますし、既成概念にとらわれない考え方ができます。すごいスピードで学びます。また、楽しく学んで、それを記憶しています。失敗を恐れずに何にでも挑戦します。これからの社会では、多くの質問をし、既成概念にとらわれない考え方をする人が必要なのです。」という内容のものです。『多くの疑問を持ち質問をする』『既成概念にとらわれない考え方をする』ということは、まさに、バラモンプランに通じることだと思います。

また、アメリカ国立訓練研究所が「学習方法と半年後の学習定着率の関係」について研究したところ、ただ席に座って先生の講義を聞くだけの学習方法では平均5%しか学習内容が定着しないが、読書だと10%、グループ討議になれば50%、自らの体験による学習だと75%になり、他の人に教えるレベルになると90%になることがわかったそうです。つまり、受け身の学習では定着率が低く、能動的、積極的な学習になればなるほど学習効果は上がっていくということだと思います。

「多くのことに疑問を持ち質問することの大切さ」「既成概念にとらわれないことの大切さ」「能動的、積極的な姿勢、特に、他の人に教える、自分の考えを伝えること（プレゼンテーション能力）の大切さ」この3つのことを心に留め、本日の発表会、そして、今後の高校生活を送って欲しいと思います。

高校時代は、正解のない問題に向き合い探究することで、未来への想像力が引き出されるといいます。「バラモンプラン」は、こうした思いを込め、この高校時代に、郷土、五島の魅力や課題、活性化について当事者意識をもって探究することで、自分の進路を考え、さらには、高校卒業後に大学等で日本、世界の課題に取り組み、そのノウハウを持ってできれば五島に戻ってきてほしい、戻ってこなくても、五島のことを思いながら活躍して欲しいという願いが込められています。7本の発表や、休憩時に行われた24の班のポスターセッションは、そのような思いが込められたものでした。これからも改善すべきところには改善を加えながら、この取り組みをより良いものに発展させていきたいと考えています。

准看護師資格試験100日前集会

11月6日（水）に准看護師資格試験100日前集会が開催され、3年7組22名に対し、学年主任の渡辺洋平先生をはじめ数々の激励の言葉が寄せられました。

3年生代表の久原千里さんからは、「1年間の病院実習を終えて、受け持ちの患者様や指導者さんからは疾患に関わる知識や看護技術だけを学んできたわけではない。“一つのこと＝准看護師資格試験全員合格”を成し遂げるために自分自身に何が必要で、どのような行動をするべきかを学んできたはず。今日のこの集会を機に、100日後、心身ともにベストな状況で受験できるように各々が意識し、今を大切に行動に移していきたい。」という決意表明がありました。3年生にとって資格試験に向け、気持ちの持ち方やその場に居合わせた全員に対して誓うことで最後まで頑張り抜く原動力となる集会となりました。



バラモンプラン発表会

11月6日（水）に第2学年バラモンプラン発表会を行いました。これまで研究してきたプロジェクトについて、プレゼンテーションやポスターセッションで発表を行いました。今回の経験をもとに、これからの探求活動を充実させていきたいと思います。



人権教育

11月5日、人権教育を行いました。今回は「DV防止ながさき」から、小松由美子先生に來校していただき、DV（ドメスティックバイオレンス）の防止についての講演をしていただきました。現代日本のDVの実態や、自身が暴力の被害者や加害者にならないようにするにはどうすべきか等について、代表生徒によるロールプレイを交えつつ、当事者意識をもって学ぶことができました。

人生の達人セミナー

11月1日（金）に諫早まちづくり研究所 代表取締役 下濱誠一郎氏を講師にお招きし、ご講演をいただきました。笑顔で地域活性化を目指し、地元商店街との連携や震災復興支援など、県内外でのさまざまな活動について紹介していただき、とても勉強になりました。バラモンプランなどに活かせる大変充実した講演会でした。



長崎県高等学校駅伝競走大会

(陸上部)

11月6日(水)秋晴れの中、雲仙市小浜町において長崎県高等学校駅伝競走大会が開催されました。男子が7区間42.195km、女子が5区間21.0975km、朝10時に女子、昼12時20分に男子がスタートしました。結果は、男子26位、女子18位でした。最長区間は男子10km女子6kmでトラックレースよりもはるかに長い距離となるので、普段の練習で10km以上の長い距離を走りこんできました。長距離は、練習も試合もきつい種目ですが、きつい中に楽しみを見出しこれからも精進していきます。



薬物乱用防止教室

10月29日(火)に五島警察署生活安全課の田中俊大様を講師にお招きし、薬物乱用防止教室を実施しました。DVD視聴では、人生全てを失う事態に陥る光景が放映され、改めて薬物の恐ろしさを痛感し、講話では、身近な事として正しい知識を身につけ、自分自身の行動には強い信念を持って行動してほしいと、お話しいただきました。



芸術鑑賞会

11月14日(木)に福江文化会館にて芸術鑑賞会が行われました。今年は日本の伝統芸能を学ぶというテーマで、学校寄席が行われました。上方落語、江戸落語や曲芸など、普段は深く触れることのない演芸を、落語家の方々の丁寧な説明を受けながら生徒達は楽しく観覧しました。今回は五島海陽高校との合同鑑賞で、途中、両校生徒がステージに上がり、落語を実演するコーナーがあり、会場は笑いに包まれました。単なる笑いだけではなく、繊細な表現からなる話術や迫力ある演技など、古典芸能の奥深さを感じることもできる芸術鑑賞会となり、充実した時間を過ごせたようです。



令和元年度 長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】結果

【絵画部門】

優秀賞 3年 戸野本早喜
 入選 3年 佐々野優香
 入選 1年 津渡 紅侑

【デザイン部門】

優秀賞 3年 林 海音
 優良賞 1年 今永 優陽
 入選 1年 濱口貴一郎



「移ろひ」
林 海音



「蓮」
戸野本 早喜